

〈特集：JMLA/JPLA コンソーシアム説明会〉

平成 25 年度 JMLA/JPLA コンソーシアム説明会
参加者アンケート調査結果報告

NPO 法人日本医学図書館協会 雑誌委員会
日本薬学図書館協議会 雑誌問題検討委員会

1. はじめに

NPO 法人日本医学図書館協会雑誌委員会と日本薬学図書館協議会雑誌問題検討委員会では、平成 25 年度コンソーシム説明会を 8 月 30 日京都会場、9 月 3 日東京会場と 2 回に分けて開催しました。両委員会の合同会議において、今後のコンソーシアム説明会開催についての参考とするため、両会場の参加者へ同内容のアンケート調査を行うことが決まり、当日、参加者の皆様に配布しました。アンケートの集計結果については、NPO 法人日本医学図書館協会（以下、JMLA）のホームページ、機関誌『医学図書館』および日本薬学図書館協議会（以下、JPLA）の機関誌『薬学図書館』へ掲載し報告することになりました。その集計結果がまとまりましたのでご報告いたします。

2. 開催日時・会場

開催日時は次のとおりです。会場については、関西地区、関東地区とも昨年度と同じ会場になりました。

〈関西地区：京都会場〉

日時：平成 25 年 8 月 30 日（金）

9：15～17：30

会場：京都テルサ東館 2 階 セミナー室
（第 1～3 セミナー室+中会議室）

〒 601-8047 京都市南区東九条下

殿田町 70 番地

（新町通九条下ル 京都府民総合交流プラザ内）

（JR 京都駅より徒歩 15 分、近鉄東寺駅・地下鉄九条駅よりいずれも徒歩約 5 分）

〈関東地区：東京会場〉

日時：平成 25 年 9 月 3 日（火）

9：30～18：00

会場：パレスサイドビル 2 階

マイナビルーム S

〒 100-0003 千代田区一ツ橋 1-1-1

パレスサイドビル 2F

（東京メトロ東西線竹橋駅直結、都営三田線神保町駅より徒歩 5 分）

表 1 JMLA 会員の参加率

JMLA	京都参加人数	東京参加人数	合計人数	会員機関数	参加機関数	参加機関の割合
正会員 A	19	46	65	99	43	43.4%
正会員 B	6	16	22	40	15	37.5%
計（雑誌委員含む）	25	62	87	139	58	41.7%

会員機関数は 2013.7.24 現在による。

表2 JPLA 会員の参加率

JPLA	京都参加人数	東京参加人数	合計人数	会員機関数	参加機関数	参加機関の割合
正会員 A	12	14	26	54	18	33.3%
正会員 B	8	26	34	50	24	48.0%
正会員 C	0	10	10	14	8	57.1%
正会員 D	3	1	4	8	5	62.5%
計 (雑誌委員含む)	23	51	74	126	55	43.7%

会員機関数は 2013.5.3 現在による。

3. 説明会の参加率

説明会は、両会場合計で 113 機関 161 名の参加がありました。参加機関の割合は、表 1, 2 のとおりです。JMLA, JPLA 合わせて 42.6% の参加率ですが、JPLA の正会員 B, C, D の参加率が高い結果となりました。逆に JPLA の正会員 A の参加率は低く、これは大学図書館コンソーシアム連合 (JUSTICE) の参加とも関係があるかもしれません。なお、会員機関数は、JMLA, JPLA のホームページ掲載の数字を使用しました。また、JMLA, JPLA の両協会に所属する会員の参加が 1 機関 2 名あり、JMLA, JPLA に各 1 ずつカウントしています。

4. アンケート調査方法と回収率

- 調査方法：アンケート質問用紙裏表に 9 項目の質問事項を記載し、説明会資料に同封、受付で配布し、説明会の席上で協力を依頼しました。
- 質問項目：質問中 7 問は選択式とし、2 問は自由記述方式としました。
- 回収方法：受付に回収箱を設置し入れていただきました。
- 配布数と回収率：表 3 のとおり。

表3 回収率

アンケート	京都	東京	合計
配布数	46	104	150
回答数	39	84	123
回収率	84.8%	80.8%	82.0%

雑誌委員はアンケート調査の対象から除きました。

5. アンケート結果

1) あなたの所属している機関は？ (図 1)

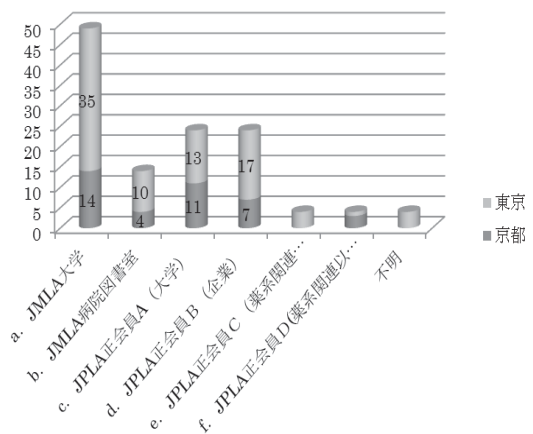


図1 所属 (単位人)

これを協会別の参加人数で集計してみると次のとおりとなります (図 2)。

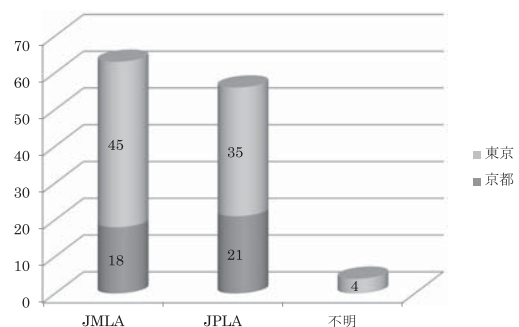


図2 所属協会別 (単位人)

2) 本日の日程について (図 3)

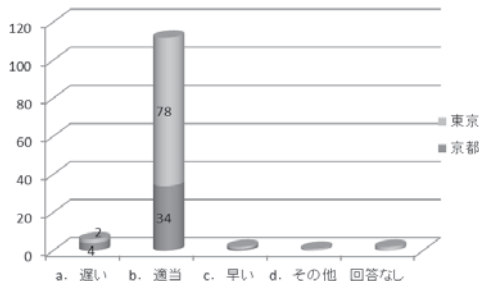


図 3 日程 (単位人)

多くの方が「適当」と回答されましたが、ほかに次のようなご意見もありました。

<東京会場参加者のご意見>

- ・ 時期は良いのですが、契約のメ切を考えるともう少し早くてもよいのかもしれませんが無理なのかもしれません。
- ・ できれば1日遅く JUSTICE の前日としていただければ経費の部分でよかった。(勝手ですが) 企業等の都合もあるでしょうから仕方ないとは思いますが。
- ・ やや早いような気もしますが、今年のように円安の影響で早めの対応が必要な年はちょうど良いくらいに思えます。
- ・ 初心者なのでわからない。

3) 本日の会場について (図 4)

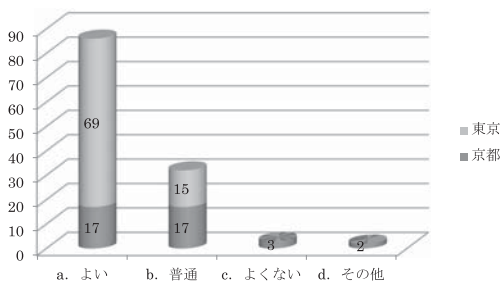


図 4 会場 (単位人)

多くの方が「よい」と回答されましたが、会場別にみると次のようになります (図 5, 6)。

<京都会場参加者のご意見>

- ・ 大阪駅の近くの方がありがたいです。

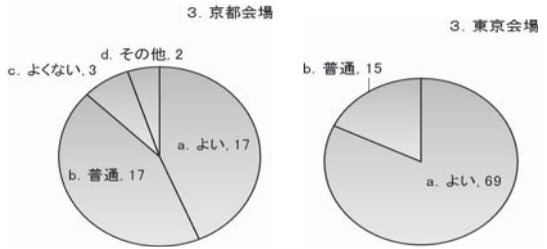


図 5 京都会場 (単位人) 図 6 東京会場 (単位人)

- ・ 大阪から来るには遠すぎます。
- ・ 良い会場ですがアクセスは大阪ぐらいがいい。
- ・ 会場内は良いが、大阪も地域によっては足の便が悪い。
- ・ 大阪ではいけない理由は何でしょう？
- ・ 駅から遠い。
- ・ 駅から遠くないので良い。
- ・ 主要駅に近いと有難いです。(京都駅 etc)
- ・ 冷房がききすぎていた。
- ・ 参考：沢山駅前にも公共の施設があります。

<東京会場参加者のご意見>

- ・ 交通のアクセスが良いと思います。
- ・ 駅直結で便利！ (2)
- ・ なるべく東京駅から 30 分以内の場所を希望します。
- ・ プロジェクターがやや見えにくい。小さい。

4) 本日の説明会の参加業者 (版元・代理店) 数について (図 7)

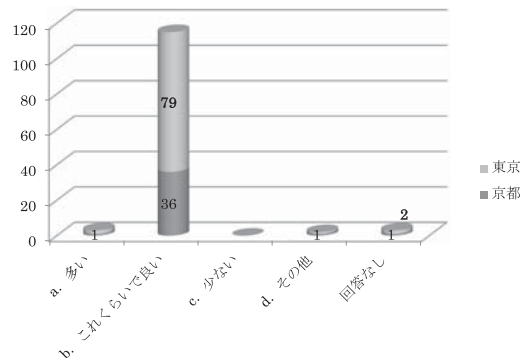


図 7 参加業者数 (単位人)

<京都会場参加者のご意見>

- ・ 全部聞く必要がないので会場を 2 つにし、時間

で聞きたいものを移動して聞けるようにしてほしい。

- ・これくらいで良い（資料は各自が選んで受け取れる形式に変更していただきたい）。

＜東京会場参加者のご意見＞

- ・初心者なのでわからない。
 - ・展示ブースはもう少し多い方がうれしいです。
- 5) 本日の説明会の内容について (図8)

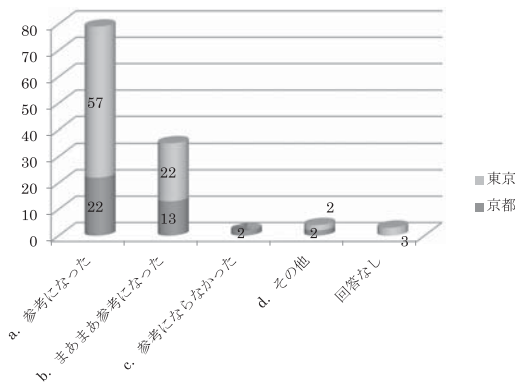


図8 説明会内容 (単位人)

大部分の方が「参考になった」「まあまあ参考になった」と回答されました。

＜京都会場参加者のご意見＞

- ・新規の場合もあるので、価格の条件など、ゆっくりやって欲しい。
- ・まあまあ参考になった。

- ①直接に SAGE, ACS 等の出版社と話せるのが良い。
- ②文生書院に：論文、規格など共通のプリペイドを提案してほしい。

- ・ACS の説明時間の変更を認識していなかったため聞けなかったのが残念。(JPLA 正会員 D)

＜東京会場参加者のご意見＞

- ・約束していたブース（企業さん）で必要な説明を受けられ大変良かった。
- ・例年ですが、説明会も参考になりますが、提案早見表がとっても便利で助かります。大変とは存じますが、今後ともよろしくお願いたします。
- ・JUSTICE の説明会と両方聴かなければ全容がわからない。

- ・説明会とブースの両方があることで詳細に話をきくことができてよい。

- ・初めてこのような業務に従事し、予備知識がなくての参加でした。今後勉強していきたいです。

- ・大変参考になりました。

6) 昨年まで東京会場で開催していた情報交換会について (図9)

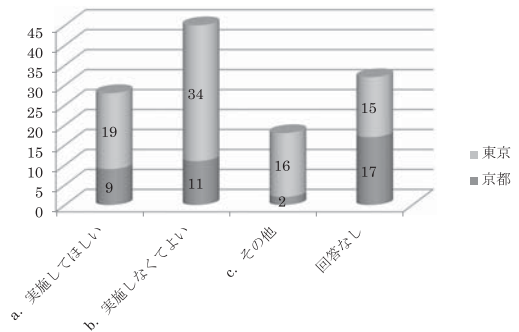


図9 情報交換会 (単位人)

京都会場では昨年度も情報交換会を開催していませんでしたが、回答が少なかったようですが、ご意見もありました。東京会場参加者は「実施しなくてよい」とのご意見が多くありました。ほかに次のようなご意見もありました。

＜京都会場参加者のご意見＞

- ・関西・近畿地区なら近いので参加したい。
- ・情報交換会の内容による。

＜東京会場参加者のご意見＞

- ・どちらでも良い。(3)
- ・どちらともいえない。
- ・参加したことがないためわかりません。(3)
- ・説明会への参加が初めてのため実施の可否についてはよく分からない。
- ・実施されれば参加します。
- ・毎回参加しているわけではないが、各館、雑誌係や担当が変更になった時には情報交換の場があると良いと思う。
- ・情報を交換ができる場は欲しいとは思いますが、休み時間などフリーな時間をとれるゆとりがあればよい。
- ・終了後の情報交換にこだわらずランチタイムや

休憩時間にそのような場を設定してもよいのでは？

- ・初参加のため分かりませんが、どんな感じなのか気になります。
- ・展示ブースで話を伺えるので特に無くても良いと思います。
- ・他機関の方と顔をあわせて話ができるのは、地方に住んでいるとなかなかないので（実施してほしい。）

7) 今後の説明会開催について (図 10)

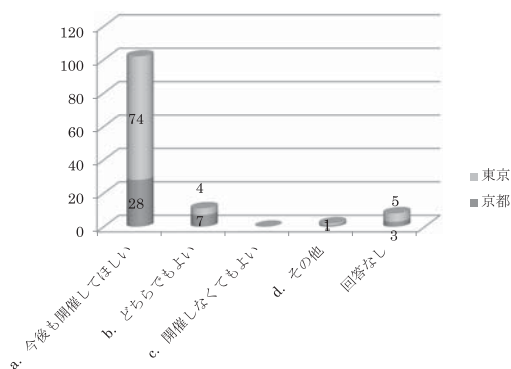


図 10 今後の開催 (単位人)

多くの方が「今後も開催してほしい」とのご意見でした。

<京都会場参加者のご意見>

- ・今後も開催してほしい（出版社と直接打合わせができるのがよい）。
- ・状況に応じて開催頂ければと思います。

<東京会場参加者のご意見>

- ・Webでの情報提供が充実してきているのでどちらでもよい。
- ・病院向けパッケージの充実を期待しています。
- ・あれば便利なのですが、少人数のためひんぱんに出張するのが難しい。困難なことは承知ですが、大学向けの提案については JUSTICE 説明会と合わせていただくと助かるというのが本音です。
- ・今年も開催ありがとうございます。良い提案を交渉して頂くのは大変だと思いますが、毎年、予算が厳しくなる中、非常に助かります。また、出版社の担当者が集まっているので、ま

めて話を伺える良い機会だと思います。

- ・コンソ提案内容が JPLA サイトに載ったら、メーリングリストに流して欲しい。ACS の内容を本説明会の前に確認したかったが、得られなかった。
 - ・休憩時間を短縮し、もう少し終了時間を早めてほしいと思いました。
- 8) JMLA・JPLA 向けコンソーシアムの版元交渉において、ご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

<京都会場参加者のご意見>

- ・いつもありがとうございます。一気に情報を得られるので大変役立っています。
- ・値上げありきの交渉に疑問を感じる。値上げが当たり前のような説明をする業者が多い。
- ・パッケージ契約は困難になってきていますので、ペーパービュー契約の提供を広げてほしいと思います。
- ・HP に載る時期を早くしていただきたい。
- ・JUSTICE との協働
- ・同じ条件下でのオンライン・冊子の価格比較が見たい。国内データベースはプライスカップが基本的に 0% です。国外のほとんどが 1% 以上ですが、日本向けは 0% が基本であるという流れを作ってもらいたい。
- ・去年は ACS で困ったので、今年は ACS と合意していただいて助かりました。
- ・OVID: PayPerView Deposit Option (JPLA 企業会員限定) の 1 Article あたりの PPV 価格を一律価格にしてほしい。2014 年提案では雑誌によって異なっている。
- ・いつも細やかな配慮と交渉頂きありがとうございます。
- ・Wiley に会員種別による区切りをなくして欲しい。

<東京会場参加者のご意見>

- ・JUSTICE との連携を深めてほしい。Opt-in についても検討してほしい。
- ・Lancet バックファイルが提案になって有難いが、複数年の予算見通しが立て難いため、利用しにくい。年別別プランを引き続き検討頂けるとうれしい。

- ・一度に多数の代理店と話ができるので助かります。
- ・担当が初心者なので、交渉方法等の相談窓口があればいいと思います。
- ・毎年交渉していただきありがとうございます。コンソーシアム価格にとっても助けられています。
- ・エルゼビアには、より多くの提案を検討して頂きたいです。
- ・AAASには、新規館以外も対象となるよう、引き続き交渉して頂ければ幸いです。
- ・もう少し弾力性のある提案がないと、法人契約は難しい。
- ・提案書のフォーマットの統一
- ・PPV提案の充実（今年は複数のPPV提案があり助かった。）
- ・Wileyの提案が厳しいです。多くの版元の提案書・条件が同じ体裁で掲載されていたので見やすかったです。
- ・専門的すぎる内容だったので、もう少し不慣れた担当者でも理解できる基礎的な部分の説明が欲しい。
- ・もう少しジャーナル選択の自由度が高いと助かります。
- ・JPLAの方ですが、以前はホームページで交渉内容（版元の誰が出たか、どこまで話がすすんでいるか）が載っていたと思うのですが、今はどこを見たらいいかわかりません。
- ・Natureの企業提案、Token等があると嬉しいです。
- ・PayPerViewモデル（購読タイトルなしでも利用可）を増やして欲しい（少々割高でも可）。
- ・委員の皆様の交渉に感謝いたします。有難うございます。（他、お礼5）
- ・いつもありがとうございます。今は予算的に維持すらむずかしい状態である機関が多いと思いますが、このような場があることでがんばれます。
- ・円安状況にある時は、円価での支払いが増加してしまう事を抑制する事も反映しながら交渉して欲しい。
- ・上映資料は手許資料として配布してほしい。
- ・毎年値上げする業界なんですね…
- ・パッケージもけっこうだが、もう少し図書館に選択肢はないのかと思う（たとえば、移管タイトルを自動的に継続させられるなど）。
- 9) 今後参加して欲しい版元、代理店があればご記入ください。
- ・Up to Date (3)
- ・Thomson (2)
- ・SciFinder
- ・医学中央雑誌刊行会
- ・JDreamIII (ジーサーチ) (2)
- ・三省堂
- ・ベルブック
- ・Elsevierの電子ジャーナル
- ・Discovery Service
- ・Mary Ann Liebert
- ・南江堂洋雑誌
- ・最新看護索引Web (日本看護協会) 凸版印刷提供のデータベース
(日本看護学会論文集のオンライン化により冊子販売が中止になったため)
- ・版元ではないが、Clinical Keyについて説明があるとよかった。
- ・文生書院様 Wang Fan data にプリペイド形式の提供をお願いしたい。
そうであれば導入しやすくなります。

6. 終わりに

アンケート回答用紙の欄外には『提案早見表』についてのご意見が多く寄せられました。『提案早見表』が役立つ、全体を把握するのに非常にわかりやすい、今後も続けて作成をしてほしいなど、平成22年度より作成・配布している『提案早見表』が会員の皆様にお役に立っている様子が伺えます。また、『提案早見表』の電子版を協会HPからダウンロードできるようにとのご要望もいただきましたが、これはJMLAのWebサイトからダウンロードできます。JMLAのホームページ>電子ジャーナル・分担購入活動>電子ジャーナル・コンソーシアム (<http://plaza.umin.ac.jp/~jmla/ejbuntan/ej/index.html>) >2014年提案はこちら (JMLA正会員 AB, JPLA正会員

ABCD のみ) (パスワード要) >提案早見表 の順にクリックしてアクセスし、エクセルの表をダウンロードすることができます。同様に『提案一覧』も掲載されていますのでご利用ください。

今回のアンケートでも、多くの方からさまざまなご意見やお礼の言葉をいただきました。各機関の予算がますます厳しくなるなか、少しでも利点を引き出せるよう JMLA, JPLA の両委員会が協力して版元との交渉を続けていきます。今後とも忌憚のないご意見をお寄せいただき、両委員会の活動をご支援・ご協力いただきますようお願い申し上げます。また、委員をお引き受けいただける

方は、事務局またはお近くの委員へご連絡ください。

最後に、アンケートにご協力いただきありがとうございました。この場をお借りして両委員会委員一同お礼申し上げます。なお、当日配布したアンケート調査用紙とプログラムを添付いたします。

このアンケート調査結果報告は、JMLA の Web サイト、および『医学図書館』60 (4) 2013 年 12 月発行に掲載されたものと同じ内容です。

(原稿受付け：2011.11.6)